

平成26年 1月27日  
J A静岡経済連野菜花卉課

現在、1月下旬になり普通ポット育苗の作型もピークを過ぎ小玉になっている。

第1次腋果房（2番果）は、9月上旬定植のもので収穫が始まった。

しかし、全体的には10%と少なく大きな増加にはならない。（右写真）



9月中旬のものが、肥大期～白熟期になってきたものが多く2月上旬から収穫が始まる見込み。作型的には20%となっている。

普通ポットは9月下旬定植（約60%）のものは、肥大～開花を迎えており、収穫開始は2月中旬以降になる見込み。（右写真）



予想通り、1番果房～第1次腋果房（2番果）までは中休みができ2月上旬までは少ない見込み。

第2次腋果房（3番果）については、比較的連続して出蕾してきており、今後第1次腋果房の摘果と下葉整理をするよう進めている。

第2次腋果房が連続するというので、3月上旬以降は量が増加する見込み。

※11月以降の温度管理が第1次腋果房の早晩に繋がっており、適温管理の圃場では順調に収穫を迎えている。低温管理により、葉の展開速度と着色期間が遅くなっている。